



KAGOSHIMA Y'S MEN'S CLUB

2023. **8**月号

鹿児島ワイズメンズクラブ No. 392

国際会長：Urlik Lauridsen [デンマーク] 輝かそう、あなたの光を
Let Your Light Shine

アジア太平洋地域会長：利根川 恵 子 [東日本区川越] 変革のための光となろう
Be the light for change

西日本区理事：深 谷 聡 [名古屋クラブ] 未来に灯そう希望の光り
Let's illuminate the light of for the future

九州部部长：中 西 賢 一 [熊本クラブ] 今こそ動き出そう 九州から風を



未来の子どもたちの育成のために鹿児島YMCAと共に行動をおこそう！

鹿児島クラブ会長
徳田 穰

2023 - 24年度期 鹿児島クラブキックオフ例会報告

鹿児島クラブ 中堀 清哲

2023 - 24年度期の鹿児島クラブキックオフ例会は去る7月25日(火)に鹿児島市国際交流センター 2F 会議室に於いて開催。徳田新会長が元気よく今年度の方針・活動計画と抱負を述べられました。さあ、新しい期のスタートです。コロナ禍以前の状態に戻りつつある中で、本来のワイズなりの交流や鹿児島YMCAとの協働を通じてEMCに繋げてまいりましょう。数は少ないですが少数精鋭、小粒でもピリリと辛い鹿児島クラブでありたいですね。徳田会長をしっかりとお支えして、盛り上げましょう。



TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT



未来の子どもたちの育成のために鹿児島YMCAと共に行動をおこそう！

梅雨があけ8月ともなると、連日の猛暑が続き外出を避け家で過ごすことが多い毎日を送っています。全国各地で猛暑や集中豪雨などが起きるのは、気候変動(地球温暖化)の影響だと言われています。地球温暖化を阻止するためにもSDGs(持続可能な開発目標)の推進が大事だと言われています。

SDGsは、2015年の国連のサミットで採択されたもので、2030年までの15年間で達成するための「持続可能な開発目標」の略称です。貧困、不平等、水、食料、エネルギー、地球温暖化など世界が共通しているさまざまな課題を克服し、持続可能なよりよい世界を実現することを目指して、世界が一丸となって取り組んでいくための世界共通の「17の持続可能な開発目標」のことで、SDGsの目指している方向は、ワイズメンズクラブやYMCAが目指している方向と一緒だと思います。

最近の異常気象による被害から人々の生命と財産、社会インフラ、そして自然や生態系を守るには、根本的な解決策として、地球の平均気温上昇を1.5°Cに抑える必要があり、そのためには2050年までにCO₂排出量を実質ゼロにすることが求められています。国、地方公共団体、企業等で取り組まなければ達成が難しい面はありますが、私たちが取り組むことが出来ることもたくさんあります。例えば、冷暖房は適切な温度に設定する。CO₂の少ない交通手段を選ぶ。環境負荷ができるだけ小さい製品を購入するなど身近にできることに取り組むことです。

例えば、ワイズメンズクラブが行っている清掃活動は、「15の陸の豊かさを守ろう」、「16の海の豊かさを守ろう」にあたります。そのほか、食べられる分だけ作って、食べ残しを減らそう。子ども食堂やフードバンクへ食材を寄付する。これは、「2の飢餓をゼロに」になります。お風呂の残り湯を洗濯などに再利用する。これは、「6の安全な水とトイレを世界中に」につながります。このように全開発目標に私どもが出来る身近な取り組みがあります。私どもワイズメンはこのように身近に出来ることを実践し、SDGsの実現に努めてまいりましょう。



未来に灯そう希望の光り
Let's illuminate the light of for the future

来たる8月25日より29日迄ヒマラヤの玄関口であるネパールのカトマンズで『アジアユースコンボケーション』が開催されます。

テーマは『共に輝き力強く成長しよう』です。

西日本区からは各地クラブ推薦で4名、東日本区からは6名の参加者の計10名が日本から参加されます。アジア太平洋地域の若者がネパールに集まり寝食を共にしながら議論し、研鑽し、交流する機会であり、ユースが世界に視野を広げ、ワイズメンズクラブ・YMCAの活動を理解できる貴重なプログラムです。国籍、ジェンダー、宗教に囚われないからこそ、私達にしか出来ない何かを見つけるチャンスとも思われます。ワイズメンズクラブ&YMCAにとってユースは我らの将来を担っていく大事な人材です。1人でも多くの仲間と将来の夢を語り合い、友情を育み、自分達の活動で平和な社会の実現を祈ります。

アジア地域の国際社会での期待は年々高まりつつあります。日本人として国際社会で積極的に発言をし、日本のワイズメンとして国際社会での役割を学び、実践をして参りたいと思います。

2025年、西日本区としてはラオスにYMCAホテル専門学校の開学を目指します。同年8月にはワイズメンズクラブアジア太平洋地域大会を熊本で開催予定です。

私たちの長年培ってきた活動を皆で世界に広めて参りたいと思います。

皆様宜しく願い申し上げます。

今月の樹 **ブルーベリー**

ブルーベリー（英: blueberry）は、ツツジ科スノキ属シアノカス節に分類される低木果樹およびその果実（ベリー）の総称。果実は生食・加工いずれにも用いられる。野生種（近縁種）はヨーロッパ、東アジアなどにみられ、ヨーロッパ・アメリカでは古くから食用に供し、日本でも近縁種のクロマメノキ・ナツハゼ・シャシャンボ・クロウソゴなど野生種の果実を食用とした。栽培用園芸品種群の登場は19世紀の末に遡り、北アメリカ大陸のインディアンが利用していた各地の野生種を基にして創出された。これら北アメリカ産の園芸用ブルーベリーが、食用品種としてヨーロッパや日本に伝播した。我が家にも3本のブルーベリーの樹がある。今年は初収穫が7月13日。それ以来ほぼ毎日食べる分だけ収穫があり、今朝も食した（8月12日現在）。8月いっぱい楽しめる。葉は紅葉して美しい。
(一部ウィキペディア参照)



7 July **定例会報告**

日時：令和5年7月24日（火）19:00～21:00
場所：鹿児島市国際交流センター
出席者：6名
司会者：園屋

8 August **企画例会報告**

日時：令和5年8月14日（火）19:00～20:30
場所：Zoom
出席者：神村、中堀、園屋、松若、新内、大平、

7月例会の記録

クラブ在籍者	10名
出席者	6名
メネット	0名
コメット	0名
ゲスト	0名
ビジター	0名
メイクアップ	3名
4月出席率	90%

今月の聖句

人の血を流す者は、
人によって自分の血を流される。
人は神にかたどって造られたからだ。

(創9・6)



鹿児島ワイズメンズクラブ
WEBサイトはこちら▶



静岡遠征(2023年7月29日～8月6日)

9日間の遠征を行いました。鹿児島から19名参加。USA JAPAN主催のワンディキャンプに始まり、追手門学院大学のチアリーダーの皆さんとの合同練習、静岡・愛知で活躍中の世界大会常連チームとの合同合宿、また、山梨YMCAとのチアキャンプを実施してまいりました。

9日間と長い遠征となりましたが、過ごす毎日がたくさんの刺激があり、出会いがあり充実した時間となっており、こどもたちも大きく体調を崩すことなく無事に帰ってくる事ができました。山梨YMCAとのチアキャンプも今年で2回目となり、メンバー同士の交流はもちろんのこと、「チアを楽しむ気持ち」が大きく育まれていると感じます。



夏祭りイベント出演!

8月5日は、鴨池校区夏祭りに参加しました。台風前ということでしたが、出演の時間にはステージに日が差し込み子ども達の笑顔がキラキラと輝いていました。8月13・14日とサンロイヤルホテルのサマーフェスタへ今年も出演依頼を頂き、それぞれ会場のお客様も一緒に踊って楽しむ様子も見られ盛り上がりました! 今月27日(日)は、宇宿夏祭りに出演予定です。



鹿児島YMCA 大平 さやか